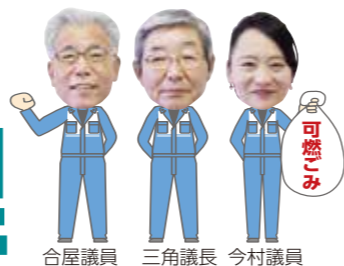


どうなる!?

もえる

今後のごみ処理



須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会視察レポート 平成29年1月31日～2月1日

1 クリーンパークわかすぎ (篠栗町)

須恵町のごみ処理

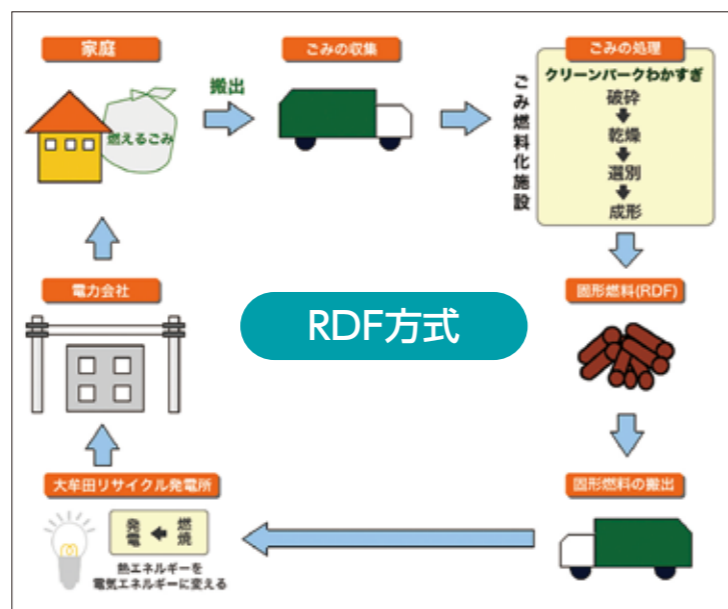
当町では、5町で対象人口約19万人のごみ等の処理を「須恵町外二ヶ町清掃施設組合」で行なっています。

クリーンパークわかすぎでは、可燃ごみを燃料化(RDF)し、大牟田の発電所に搬出し、資源ごみは売却しています。一方、し尿処理を酒水園で行い、3事業に分けています。

うち、クリーンパークは、平成14年の稼働以来14年が経過し、次の施設の検討時期に入りました。平成39年までの稼働延長が決まりましたが、平成34年の大牟田の発電所閉鎖も決まりRDFの引取先がなくなります。

そこで、主に可燃ごみの処理について、二カ所の施設を視察しました。両施設共に臭気も感じられない新施設でした。

事前に質問文を送り、丁寧な回答をいただいていた訪問でした。3施設の比較表を掲載します。



クリーンパークわかすぎ



施設名 (所在地)	組合名	使用開始年度	処理方式	処理能力 (t/日)	年間処理量 (t/年度)	運転管理体制	人口 (世帯数) H28.11.1 付
1 クリーンパークわかすぎ (篠栗町)	須恵町外二ヶ町清掃施設組合	H14	RDF	177 (59t × 3炉)	45,120	委託	188,861人 (77,730世帯)
2 クリーンプラザふじみ (調布市)	ふじみ衛生組合	H25	ストーカ炉 (全連続)	288 (144t × 2炉)	69,260	委託	414,815人 (207,175世帯)
3 西秋川衛生組合 (あきる野市)	西秋川衛生組合	H26	ガス化溶融炉	117 (58.5t × 2炉)	31,324	委託	106,013人 (46,158世帯)

2 クリーンプラザふじみ (東京都調布市)

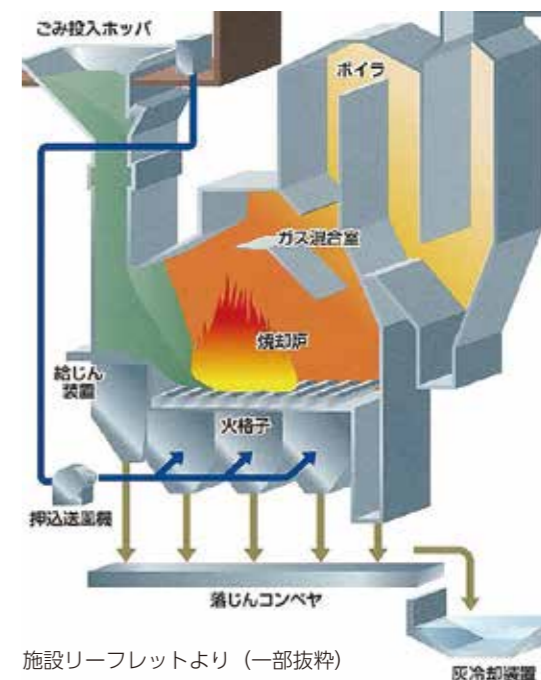
ストーカ炉方式

※ストーカ炉

ストーカ(階段状の火格子)の上でゴミを移動させ、火格子の下から空気を吹き込みながら、乾燥・燃焼・後燃焼と、段階的に燃焼させる方式。

平成25年稼働、2市で対象人口約40万人、全連続ストーカ炉方式です。ゴミは乾燥、焼却されて、灰はセメントの原料などになります。従来通りゴミを燃やす施設ですが、大量に発電することが出来ます。

驚いたことに、市の中心地である、市役所の隣に建設されていました。



施設リーフレットより (一部抜粋)

3 西秋川衛生組合 (東京都あきる野市)

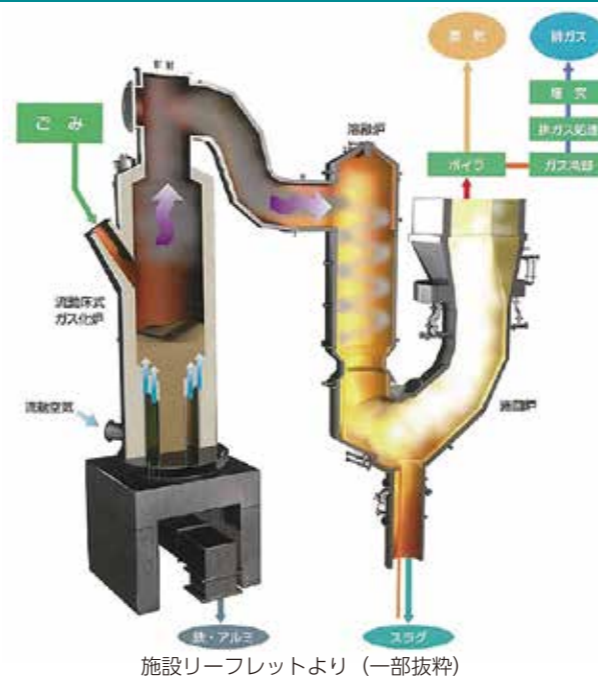
ガス化溶融炉方式

※ガス化溶融炉

ゴミを熱分解によりガス化、そのガスを溶融炉に送り込み、熱分解で残った灰分を溶かす方式。溶かした灰は、溶融スラグといい、土木・建築資材などとして有効利用される。

平成26年稼働、1市2町1村で対象人口約10万6千人、流動床式ガス化溶融炉方式です。灰を溶かしスラグという残渣はブロックや路盤材に使われます。

こちらでは、以前に未焼却で埋めていたゴミを掘り起こし、現在の物に混ぜて処理する事により、最終処分場を平成55年までと大幅な延長がなされています。



施設リーフレットより (一部抜粋)

これからの課題

現在のゴミ処理方式は、前記で紹介したストーカ炉やガス化溶融炉が多く採用されています。

さらに、年々改良されて、より良い技術に進化していきます。したがって、これからの検討は、処理

方法・建設時期およびその設置場所等の選択が最重要課題となります。

それぞれの長所、短所を考慮して、最良の施設が望まれます。